國家社會主義ノ假面ノ下ニ出現セルフアッシヨノ爲メニ社會運動ニ對スル歸趨ヲ誤リツヽアル現狀ヲ考慮スルトキ、全勞働階級ノ前衛ヲ以テ自任スル組織勞働者卽チ勞働團体ハ、其ノ精神ニ於テ氷炭相容レザルモノナキ限リ、觀念的理論鬪爭、小乘的感情論ノ一切ヲ淸算シテ、勞働戰線ノ統一及ソレニヨツテ生ズル未組織勞働者ヨリノ信賴ノ獲得、更ニソノ結果トシテ當然出現スル組織率ノ增加ヲ圖ラネバナラナイ事ハ、今更敢エテ玆ニ申上ゲル必要ノナイ程ニ明々白々タルコトデアリマス。

コノ見地ヨリ我々ハ昭和三年十二月、當時ノ社會情勢ガコレヲ許ス範圍內ニ於テ所謂右翼團体ヲ中心トスル勞働立法促進委員會ヲ組織シ、昨年六月ニハ更ニ所謂右翼中間ヲ連ヌル日本勞働俱樂部ヲ結成シ、イサヽカ資本家階級トノ抗爭、勞働團体ノ統一整理、無組織勞働者ニ對スル組織運動等ニ貢獻シタ次第デアリマス。勿論我々ハカヽル勞働戰線ノ統一、擴大、强化ニ關

スル運動ノイニシアチブヲ爭ハントスルモノデナク、數次ニ亘ル左翼團體ヲ中心トスル統一運動ニ對シテハ、我々ハソノ指導精神ニツイテハ相容レナイモノガアツタニモ不拘會テ一度モ之ヲ妨害シ或ハコレニ反對シタコトハナカツタノデアリマス。ソレハ斯クスルコトニヨリ結局資本階級又ハ支配階級ノ分裂政策ニ陷ルモノデアリ、全勞働階級ニトツテ不幸ナル結果ヲ我等自ラ生產セント努力スルニ外ナラナイ事ヲ知ツテ居ツタカラデアリマス。

幸カ不幸カ共產主義又ハソレニ類似ノ指導精神ヲ基調トスル統一運動ガ、全國的ニ勞働階級ノ信賴ト結合トヲ喚起シ誘導スルコトヲ得ズシテ遂ニ失敗ニ期シタルニ反シ、今ヤ日本勞働俱樂部ヲ中心トシ、全日本組織勞働者ノ八割マデヲソノ傘下ニ抱擁スル日本勞働組合會議ガ正ニ誕生セントシツヽアル事ハ、我國勞働運動史ニ燦トシテ輝ク一頁ヲ加ヘタモノト同時ニ、我國